

## 1 単元 火事からくらしを守る

### 2 教科の目標

火事から人々の安全を守るための活動と、消防署の人々の工夫や努力について学習し防火に関心をもつ。(関心・意欲・態度)

### 3 ICT活用の観点

興味・関心を高める提示

### 4 活用したICT

プロジェクタ コンピュータ

### 5 ICT活用のポイント

単元の導入部や実際に見ることが難しいような学習において、実際の様子を撮影した映像を見せることで、子どもたちの興味・関心を高めることができる。動画の特性を活用し、一時停止や巻き戻し機能を使って、効果的に子どもたちの興味・関心を高められるようにする。

### 6 実践の様子

「火事からくらしを守る」の単元の導入で、「今日はこれについて学習します。」と言って、消防署に関する動画を見せた。(資料①) 子どもたちは、「消防署だ！消防車があるもん！」「火事について勉強するの？」と声をあげた。その後、2分程度の動画をクラス全員で見た。子どもたちは、真剣に動画を見ていた。途中何度か動画を一時停止させ、子どもたちに質問を投げかけるなどして進めていった。

授業が進んで行くと、町にある消防施設や救助活動の様子、消防署の訓練の様子などの動画も見せながら子どもたちと学習を進めて行った。子どもたちは、普段見ることのできない活動を動画で見ることができ、興味を持って学習に取り組むことができた。

消防署に見学に行った時には、ポンプ車や消防士の服を見て、「学校のビデオで見たものと一緒だ！」という声が聞こえた。(資料②) 動画で見たものを実際に見ることができて子どもたちがとても興奮していたのが印象的だった。

### 7 成果と課題

○ 動画の提示は、単元の導入部や実際に見ることが難しいような学習をする際に効果があった。場面に合わせて一時停止や巻き戻し機能を使って学習することで、子どもたちの興味・関心が高まった。

● 動画を見せるのみならず、それに合わせて子どもたちの興味・関心がより高まるような発問を考えていく必要がある。



資料① 単元導入で見せた動画の一部



資料② 消防署見学の様子